



# 横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 10. 30

第37号

発行者  
長崎市立横尾中学校  
校長 小浦 末浩

## 明日から2年生は修学旅行

先週の水曜日（25日）から金曜日（27日）まで、全日本中学校長会研究協議会参加のため、大分県別府市へ行ってきました。文部科学省の説明も聞くことができ参考になりました。また、分科会では地域連携部会に参加しましたが、本校が今取り組んでいる自己効力感を高める地域・長崎外国語大学との交流は、全国的に見ても珍しく、貴重な研究であることがよくわかりました。11月24日（金）の研究発表会へ向けてもアピールしてきました。

しかし、個人的には出張に行かせていただくと、自分の住んでいる地域の良さや家族の大切さを感じる事が一番大きな収穫なような気がします。やはり自分の家がいいなと思っております。

さて、今週は修学旅行です。明日（31日）から11月2日（木）まで関西方面に行ってきます。2年生は朝がかなり早いので、保護者の皆様、遅刻しないようよろしくお願いいたします。博多からの新幹線の時間も決まっておりますので、遅刻者を待っている時間はあまりないと思われます。また、忘れ物がないよう、ご準備の方もよろしくお願いいたします。

現3年生も昨年度修学旅行にいっしょに行かせてもらいました。大人しい学年だというイメージが一新され、来年度（今年度のこと）は学校を引っ張って行ってくれる頼もしい学年だという事を実感して帰ってきました。予想通り、今年度の3年生の活躍は体育大会にしろ、合唱コンクールにしろ、横尾まつりなどのボランティアでの地域貢献活動にしろ、頼もしい限りです。1、2年生の行事後の感想を読みますと、3年生に憧れている文章がたくさん出てきています。

今年の2年生はどうか、今回の修学旅行を楽しみにしております。果たして、来年度、学校を引っ張っていけるような自立心と自律心をもった生徒の存在を楽しみにしております。

怪我や事故のない、有意義な修学旅行となることを期待しております。

## 横尾まつり 終わる

一昨日（28日）の横尾まつりの子どもみこし、そして横尾まつり（29日）が終了しました。昨日の横尾まつりでは、横尾中ソーラン、放送係、ブラスバンド部の演奏、表彰のお手伝い、審査委員、出店での係、作品展などで、本校生徒がおおいに活躍してくれました。

特に、土曜日の子どもみこしは、卓球部の担当でしたが、人数が足りず、心配をしておりました。ボランティアの生徒も多く参加してくれて総勢17名の生徒が協力してくれました。みこしを担ぎながらきつい坂や長い距離を移動することは、見た目以上に疲れる作業で、生徒たちもたいへんだったと思います。よく頑張りました。



また、昨日の横尾まつりでは、何といたっても横尾中ソーランのアンコールがたいへんだったと思います。リーダーの織田さんは「くるかなと思っていた」とのことでしたが、ソーランは立ったり、かがんだりの動きが多く、たいへんな運動量となります。よく頑張りました。見ている皆さんもエネルギーをもらえるような、そんな演技だったと思います。橋田長崎市教育長様からも「校長先生もいっしょに踊ればいいのに」と冗談で言われましたが、「とんでもない。体がもちません」と即答したところでした。地域行事への参加は、地域の皆様を元気にし、中学生の生き生きした活躍を見せる格好な場となります。24名の生徒には感謝です。こういう機会をいただけたことをありがたく思っております。

